

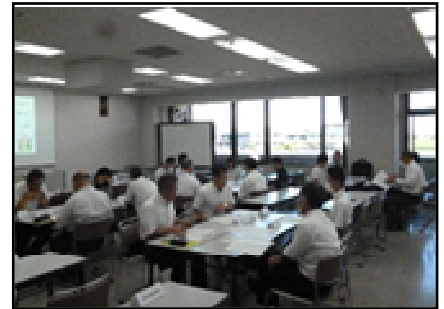
# 令和5年度 奈良県コミュニティ・スクール連絡会〔県立学校〕 実施報告

- 《日時》 令和5年8月25日(金) 9:30~11:50  
《場所》 県立教育研究所 中講座室1  
《参加》 県立学校の管理職、CS担当者 計 32名  
《内容》 9:30~9:35 開会  
9:35~10:20 行政説明「コミュニティ・スクールの運営について」  
人権・地域教育課 地域教育係  
10:30~11:15 情報交換・意見交流  
「学校運営協議会の効果的な運営に関する今後の展望」について  
11:15~11:45 全体共有  
11:45~11:50 閉会

## 《情報交換・意見交流の内容》

【テーマ：「学校運営協議会の効果的な運営に関する今後の展望」について】

1. 自校の学校運営協議会運営に関する成果と課題
2. 学校運営協議会の効果的な運営に関する今後の展望



## <グループ発表より（一部抜粋）>

### Aグループ

- ・生徒の意見を学校運営協議会委員に伝えることが十分にできていない。今後は、授業アンケートの結果を委員に伝えることを考えたい。
- ・各委員が気軽に意見を出し合える場づくりを行いたい。

### Bグループ

- ・学校運営協議会のしくみや学校運営協議会委員の役割について周知する必要がある。
- ・学校運営協議会委員に来校回数を増やすことで学校の現状を把握してもらいたいと考えている。

### Cグループ

- ・学校運営協議会委員を通して様々な団体・企業とつながることで、企業見学や販売活動等、地域と協働する活動につながっている。
- ・コミュニティ・スクールという仕組みを活用し、生徒、教職員、保護者、地域住民が参画できる取組を展開していくことで学校・地域の活性化につなげていければよい。

### Dグループ

- ・私たちが学校評議員会と学校運営協議会の違いを踏まえた上で、学校運営の改善につながる協議ができるよう、委員の選定を行う必要がある。
- ・学校運営協議会の運営を学校だけが担うのではなく、各委員で役割分担していくことも目指す必要がある。

### Eグループ

- ・各委員から多様な意見を聞くことができています。
- ・学校と地域がWin-Winの関係になればよい。学校と地域が目標を共有して協働活動が実施できるよう、学校運営協議会で協議した内容を発信する必要があると感じている。

### Fグループ

- ・「地域」をどのように捉えるかで、CSチェックシートの回答の方法が変わってくるように感じた。

### Gグループ

- ・学校評議員会の続きで学校運営協議会の委員人選や運営が行われている。
- ・学校運営協議会委員の入れ替わりがあっても、学校運営協議会が適切な運営を続けていくことが大切である。

## 《参加者の感想》

- ・他校の状況等を情報交換できて、とても参考になった。
- ・委員報酬やCSチェックシートについての理解が深まった。
- ・学校運営協議会委員に当事者意識をもって参画してもらうことがコミュニティ・スクールの充実につながると感じた。
- ・学校運営協議会が全県立学校に設置されたので、今日のような基礎的な内容の研修と、効果的な運営を目指していくための研修をしていく必要性を感じた。
- ・高齢化が進み、様々な所で若者の力が必要とされている。一部の生徒や教員だけでなく、学校全体で取り組む必要がある。

